

北海道内のテレビ放送局では唯一のホールスタジオ、札幌テレビ放送の STV ホールが照明設備をリニューアルし、フルLED化。スタジオ照明では、双方向通信による照明器具の自動認識、LED照明器具の制御に特化した操作性と、優れたバックアップ機能を構築。客席照明では、LEDシアターシリーズ電球システムによるなめらかな調光を実現しています。

北海道札幌市中央区に位置する札幌テレビ放送は、1958年の設立。札幌テレビ放送・STVラジオ本社となる放送会館が落成した1971年に、北海道内唯一のホールスタジオとなるSTVホールを同会館内に開設しました。客席数は468席。高さ約7mの Horizont、各種パトン、調光設備などを有するステージ部分は、通常のテレビスタジオとして様々な番組収録に活用されるほか、映画の試写会、ライブ、イベントなどにも活用されています。



【物件概要】
所在地：札幌市中央区北1条西8丁目1番地1
ホール面積：700㎡
ステージ面積：214㎡
客席数：468席
Horizont高：約7m
施主：札幌テレビ放送(株)
施工：照明設備及び昇降設備/東芝エリティーエンジニアリング(株)
リニューアル完成：2019年3月



客席からステージを望む 客席照明は既設器具と配線を活かして⑧ LEDシアターシリーズ電球システムを採用し、ちらつきのない、0～100%のなめらかな調光を実現。

スタジオ照明はフルLED化で作業性を向上。客席照明はLEDシアターシリーズ電球システムでなめらかな調光。

通常のテレビスタジオとしても機能し、番組収録も行われている STV ホールのステージは、照明設備のフルLED化により、作業性、安全性の向上を実現しました。双方向通信(RDM)による照明器具の自動認識機能を備え、パトンにセットされた各LED器具の吊位置情報を、調光操作卓・ワイヤレス操作器上に自動的に表示。仕込み時間の短縮を可能にしています。調光操作卓は、LED器具の制御に特化したSTV仕様とし、優れた使い勝手を実現。同時に、バックアップ機能も構築しています。また、ホールのイベント利用などもふまえ、持ち込みのハロゲン

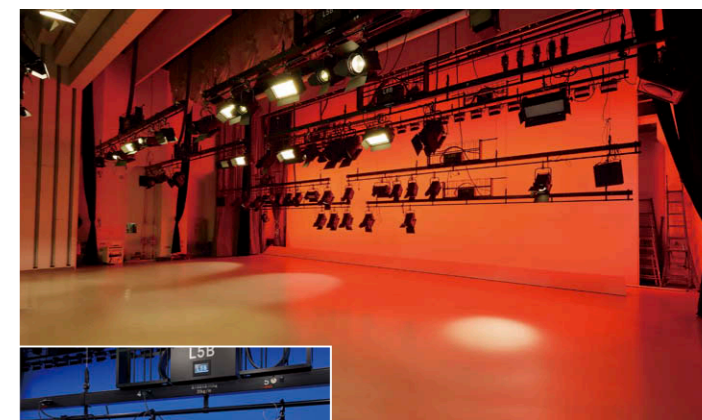
ン器具にも対応できるよう、可搬形調光器(ポータブルディムスターⅢ)も10台配備しています。客席照明では、シアター照明の雰囲気と省エネを両立するため、ハロゲン電球が使用されていた既設の照明器具・配線を活かして、直流で駆動するLEDシアターシリーズ電球システムを採用。専用直流調光器盤と併せて導入することで、ハロゲン電球と同等の、ちらつきのない0～100%のなめらかな調光を実現しています。



(左) 既設照明器具に⑧ LEDシアターシリーズ電球システム(ハロゲン電球形)を設置
(右) ⑥可搬形調光器ポータブルディムスターⅢで持ち込みハロゲン器具に対応。



ステージ(スタジオ)部分 ①② LEDスポットライト、③ LEDブロードライト、④⑤ LED水平ライトを備え、通常のテレビスタジオとして機能。



パトンと照明器具 右から②LEDスポットライト(1.5kW/2kW相当切替)、④LEDブロードライト(1kW相当)、③LEDスポットライト(500～700W相当)。



調光操作卓 ベルトエンコーダを備えた⑦ STV仕様の調光操作卓。自動認識された照明器具の吊り位置情報は右手パネルに表示。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品名)	形名	台数	備考
ステージ(スタジオ)	①LEDスポットライト FORTEX Grand (ハロゲン1.5kW/2kW相当切替)	AL-LED-FSG-L-S	30	消費電力：241W
	②LEDスポットライト FORTEX Junior (ハロゲン500～750W相当)	AL-LED-FSJ-L	20	消費電力：140W
	③LEDブロードライト(ハロゲン1kW相当)	AL-LED-BRH-L	34	消費電力：162W
	④LED水平ライト4色タイプ(アッパー)	AL-LED-UH-4L-C	28	消費電力：140W
	⑤LED水平ライト4色タイプ(ローア)	AL-LED-LH-4L	22	消費電力：140W
	⑥可搬形調光器 ポータブルディムスターⅢ	AL-TUIPT-10203-30	10	
副調整室	⑦STV仕様調光操作卓	—	1式	
客席	⑧LEDシアターシリーズ電球システム(ハロゲン電球形)	LDRDC7LWE11/D-AL3	84	消費電力：6.7W
調光機器室	インテリジェント形調光器盤	PLUG-IN DIMSTAR Ⅲ	1式	